JVC

21.3 型カラー液晶モニター

# CL-S200

# 設置マニュアル ( システムベンダー用 )

Model: CL-S200Bx0JA

**重要**

この「設置マニュアル」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、ご使用前に必ず「取扱説明書」の「安全上の注意」を読んで正しくお使いください。
「設置マニュアル」はできる限り身近な所に大切に保管してください。

B5E-0151-40

# もくじ


製品セキュリティに関して ..... 3
付属品を確認してください ..... 4
接続のしかた ..... 5
画面の回転方法 ..... 7
画面の角度調整 ..... 8
モニター情報の表示と調整 ..... 9
1. 操作ボタンガイド ..... 9
2. インフォメーション表示 ..... 10
3. 現在の状態表示 ..... 11
4. DICOM 適合性試験表示 ..... 11
5. OSD 機能一覧 ..... 12
DICOM 適合性試験の実施方法 ..... 14
コンフィグレーションデータの切替方法 ..... 16
ダイナミックガンマ機能 ..... 18
入力信号を切り替える ..... 20
オートテキストモード機能 ..... 21
人感センサー機能 ..... 23
画像の表示方向を固定する ..... 24
テストパターンの表示方法 ..... 25
DisplayPort 設定 ..... 27
USB ハブ機能 ..... 28
工場出荷設定に戻す ..... 30
スタンバイ電源ボタンのロック機能 ..... 31
操作ボタンのロック機能 ..... 32
市販のアームを取り付けるときは ..... 33
盗難防止セキュリティロックスロット ..... 34
ヒューズの交換 ..... 35
故障かな？と思ったら ..... 36


＊ 記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

# 製品セキュリティに関して

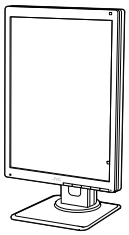
| | |
|---|---|
| 注意 | 本製品は専用のマイコンシステムにより動作しています。<br>そのプログラムが消去・変更されると正常な表示ができなくなる恐れがあります。 |
| 禁止 | 本製品をワークステーションと接続して設定変更や精度管理等の制御を行う際、通信中は USB ケーブルを抜かないでください。 |
| 注意 | IT ネットワークへの接続に関して<br>・IT ネットワークへの接続には想定しないリスクが生じる可能性があります。<br>・IT ネットワーク接続の変更には新たなリスクが生じる可能性があります。<br>・変更には、構成の変更、機器の追加、機器の取り外し、機器の更新を含めます。<br>・これらのリスクを特定し、リスクマネジメントをしてください。 |
| 厳守 | 本製品をセキュアな状態でご使用いただくために、本製品と接続して使用するワークステーションにおいて、下記のセキュリティ対策を適用して使用してください。<br>・アンチウィルス対策ソフトウェアのインストール<br>・ファイアーウォールの有効化とポート制御 |

# 付属品を確認してください

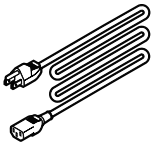
梱包箱から製品を取り出し、以下のものがすべて入っていることを確認してください。
万一足りないものや破損しているものがあった場合は、恐れ入りますが、販売店にご連絡ください。

**注意** 本製品以外に付属の電源コードを使用しないでください。

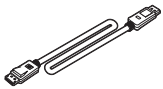
☐ モニター本体



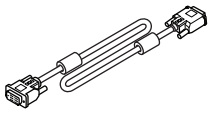
☐ 電源コード (2.0 m)



☐ DisplayPort ケーブル (1.8 m)

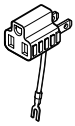


☐ DVI ケーブル（DVI–DVI）(3.0 m)

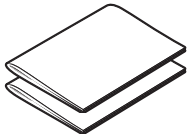


☐ USB ケーブル (3.0 m)

☐ 3P-2P 変換アダプタ



☐ 取扱説明書 × 1
設置マニュアル × 1



☐ ユーティリティディスク *

*** ユーティリティディスクについて**

本製品には「ユーティリティディスク」(CD) が付属しています。このディスクには「QA Medivisor Agent LE」が収録されており、ワークステーションにインストールすることで、キャリブレーションや各種テストパターン表示等の機能拡張が行えます。
インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。

梱包箱や緩衝材は、輸送などのために保管しておいてください。

# 接続のしかた

**1** 接続するワークステーションの電源をオフにします。

**2** **DisplayPortコネクタで接続する場合：**

付属のDisplayPortケーブルで、本製品の「**DisplayPort IN**」ポートとワークステーションのDisplayPort出力に接続します。

**DVI-Dコネクタで接続する場合：**

付属の Single Link DVI ケーブルを、本製品の「**DVI-D**」ポートとワークステーションの DVI 出力ポートに接続します。

注意 ケーブルは付属品の使用を推奨します。 付属品以外のケーブルを使用した場合、画面がちらつくなど表示が不安定になることがあります。

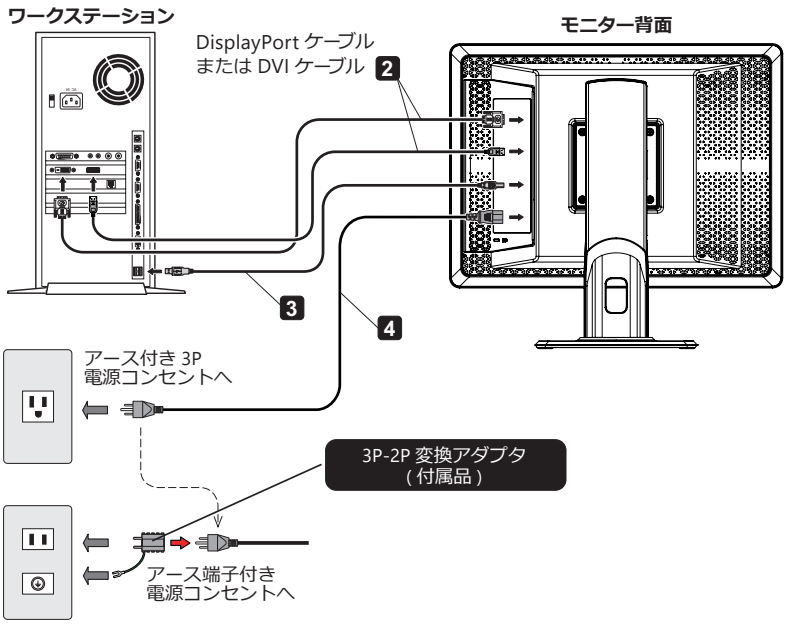
**3** ワークステーションから本製品に対して操作（設定変更、精度管理）を行う場合には、付属のUSBケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとワークステーション（または他のUSBハブ）の「DOWN」ストリームポートに接続します。

**4** 付属の電源コードを本製品のACインレットとコンセントに接続します。

電源コンセントが 2P の場合は、「3P-2P 変換アダプタ」を使って接続してください。

注意 3P-2P 変換アダプタのアース線はコンセントのアース端子に確実に接続してください。

**5** 本製品のメイン電源をオンにして、ワークステーションの電源をオンにします。

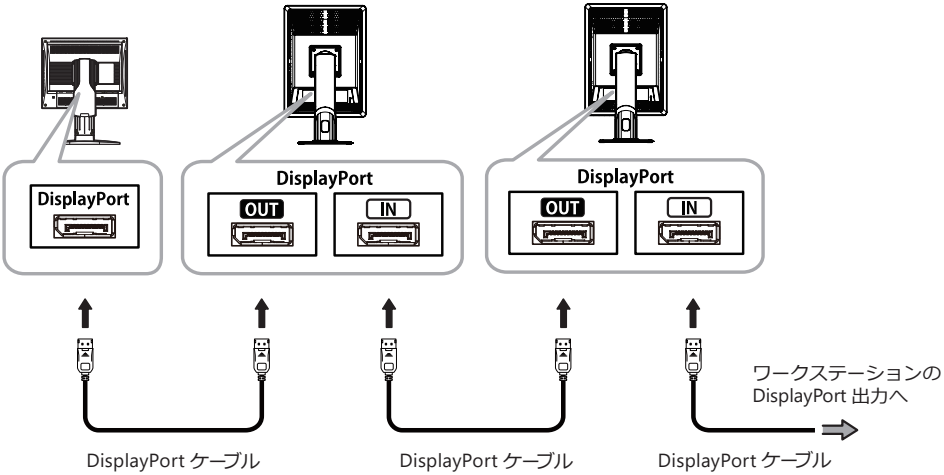


**⚠ 注意**

- 医療用途でお使いの場合、本製品は、IEC 60601-1 認定機器および医用システムに接続されることを意図しています。本製品が IEC60601-1 認定機器へ接続されていない場合は、IEC60601-1 によるシステム評価が必要となります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

### 複数のモニターをデイジーチェーン接続するときは

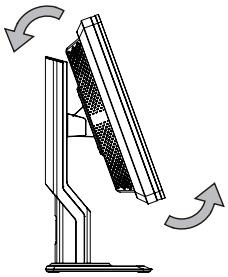
DisplayPort コネクタを下図のようにデイジーチェーン接続します。
デイジーチェーン接続が可能なモニターおよび推奨グラフィックスカードについては、弊社の Web サイトをご確認ください。



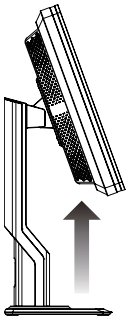
# 画面の回転方法

本製品は横型（ランドスケープ）および縦型（ポートレート）に 90 度回転させて切り替えることができます。ご使用に応じて下記の手順で切り替えを行ってください。

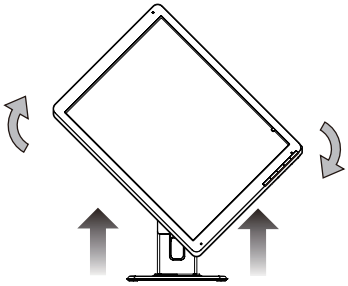
**1** 画面を手前にチルトさせます。



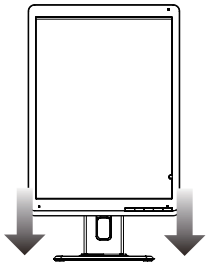
**2** 画面を一番上まで引き上げます。



**3** そのままの状態で画面を 90 度回転させます。



**4** 画面を任意の高さまで下げます。

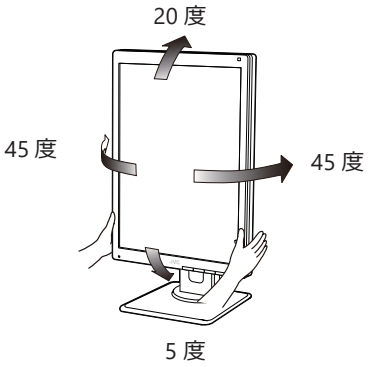


**⚠ 注意**

画面の回転や高さ調整を行う際はご注意ください。
指をはさむ恐れがあります。

# 画面の角度調整

本製品の画面は下図の範囲で任意の角度に調整することができます。調整するときは図のように画面を両手で持ち、ゆっくり動かしてください。




**注意**

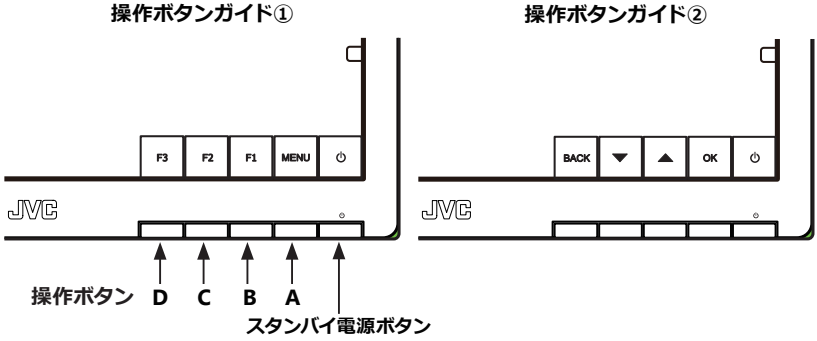
画面の角度調整をするときはご注意ください。
指をはさむ恐れがあります。

# モニター情報の表示と調整

モニターの各種情報を画面上に表示（On Screen Display = OSD）させて調整することができます。

## 1. 操作ボタンガイド

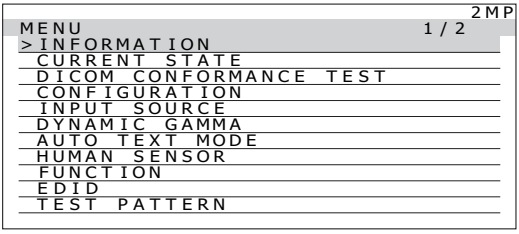
デフォルト状態では「操作ボタンガイド」が表示されていませんが、操作ボタン A ～ D のいずれかを押すと「操作ボタンガイド①」が表示されます。このまま無操作の場合、10 秒後に操作ボタンガイドの表示は消えます。「MENU」ボタンを押すと OSD メニューが表示され、「操作ボタンガイド②」が表示されます。OSD メニュー表示が終了すると「操作ボタンガイド②」の表示も消えます。



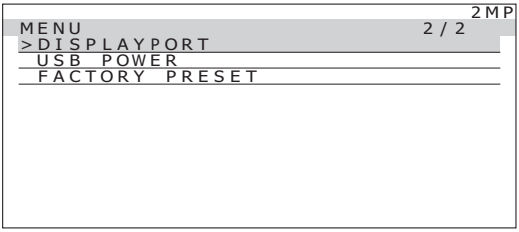

メニューを表示して ▼ または ▲ ボタンでカーソルを移動させていくと、メニューのページが切り替わります。

**メニュー 1/2 ページ表示 → メニュー 2/2 ページ表示**

**メニュー 1/2 ページ**




**メニュー 2/2 ページ**



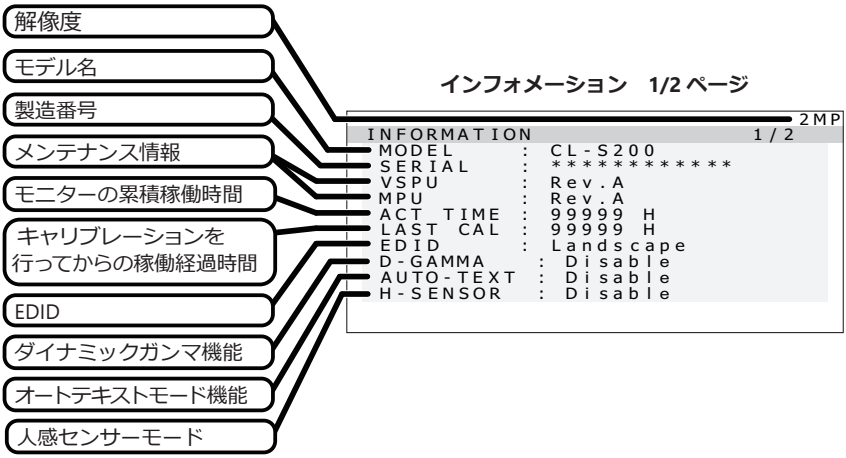

各項目の機能については ■■➡ P12「OSD 機能一覧」をご確認ください。

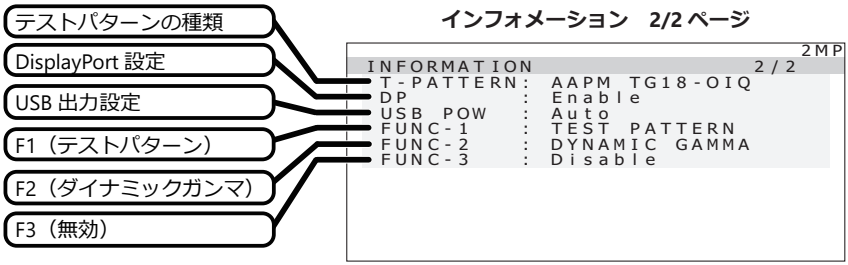
## 2. インフォメーション表示

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**INFORMATION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。すると下図のような「**インフォメーション 1/2 ページ**」の OSD が表示されます。
▼ または ▲ ボタンを押すと OSD の「インフォメーション 1/2 ページ」と「インフォメーション 2/2 ページ」が切り替わります。



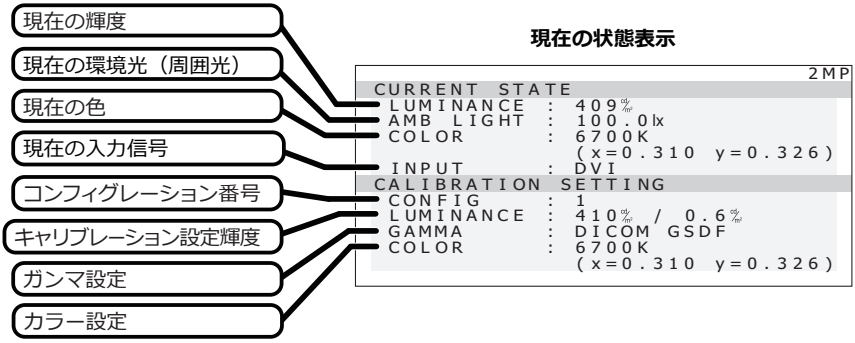

上図の場合、ファンクション 1（F1）ボタンは「テストパターン」表示のオン／オフ、
ファンクション 2（F2）ボタンは「ダイナミックガンマ」のオン／オフが割り当てられています。
ファンクション 3（F3）ボタンは「無効」となっています。

## 3. 現在の状態表示

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**CURRENT STATE**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。すると下図のような「**現在の状態表示**」の OSD が表示されます。

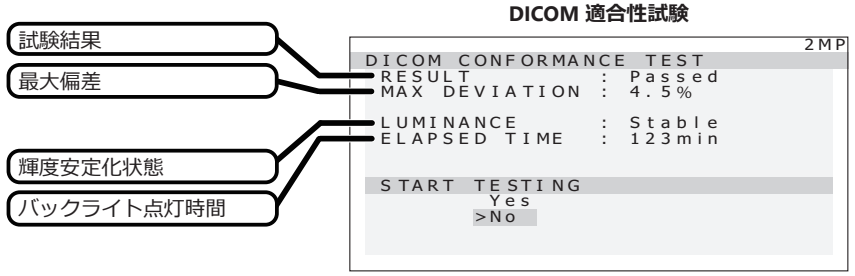



## 4. DICOM 適合性試験表示

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**DICOM CONFORMANCE TEST**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。すると下図のような「**DICOM 適合性試験**」の OSD が表示されます。



## 5. OSD 機能一覧

OSD の階層と機能概要を示します。

**MENU**

- **INFORMATION** ..... モニタ情報表示（モデル名，S/N 等）
- **CURRENT STATE** ..... 現在の状態表示
- **DICOM CONFORMANCE TEST** ..... DICOM 適合試験
  - START TESTING
    - Yes ..... DICOM 適合性試験を実施する
      - CANCEL TESTING ..... DICOM 適合性試験の中止操作
        - Yes ..... 試験を中止する
        - No ..... 試験を続行する
    - No ..... DICOM 試験を行わない
- **CONFIGURATION**
  - Config 1 * ..... Configuration1
  - Config 2 ..... Configuration2
  - Config 3 ..... Configuration3
- **INPUT SOURCE**
  - DisplayPort ..... DisplayPort 入力
  - DVI * ..... DVI 入力
- **DYNAMIC GAMMA**
  - Disable * ..... 無効
  - Enable ..... 有効
- **AUTO TEXT MODE**
  - Disable * ..... 無効
  - Enable ..... 有効
- **HUMAN SENSOR**
  - Disable * ..... 無効
  - Enable ..... 有効
- **FUNCTION** ※1
  - FUNCTION1 ..... F1 ボタンに割り振る機能設定
  - FUNCTION2 ..... F2 ボタンに割り振る機能設定
  - FUNCTION3 ..... F3 ボタンに割り振る機能設定
- **EDID**
  - Auto Selection * ..... 縦横自動検出
  - Portrait ..... 縦表示用 EDID
  - Landscape ..... 横表示用 EDID
- **TEST PATTERN**
  - SMPTE pattern ..... SMPTE パターン
  - AAPM TG18-OIQ pattern ..... AAPM TG18-OIQ パターン
- **DISPLAYPORT**
  - Disable ..... 無効 (DisplayPort 電源オフ )
  - Enable * ..... 有効 (DisplayPort 電源オン )

- **USB POWER**※2
  - Auto * ..... USB upstream 接続時のみ USB 電源オン
  - Off ..... USB 電源オフ
- **FACTORY PRESET**
  - Yes ..... FACTORY PRESET を実行する
  - No ..... FACTORY PRESET を実行しない

• KEY LOCK_1 ( スタンバイ電源ボタンの長押しでスタンバイ電源ボタンがロックされる )
• KEY LOCK_2 (▲ および ▼ ボタンの長押しでスタンバイ電源ボタン以外のボタンがロックされる )

* 印の付いた項目が工場出荷設定されています。

※1 : FUNCTON ボタンに割り当てられる機能
- CONFIGURATION
- INPUT SOURCE
- DYNAMIC GAMMA
- AUTO TEXT MODE
- TEST PATTERN

※2 : USB POWER 設定と USB 電源動作

| USB POWER | USB UP 接続あり | | | USB UP 接続なし | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | モニター電源オン | モニター電源オフ | モニターパワーセーブ | モニター電源オン | モニター電源オフ | モニターパワーセーブ |
| AUTO | ○ | ○ | ○ | × | × | × |
| OFF | ○ | × | × | × | × | × |

# DICOM 適合性試験の実施方法

注意

この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされているときのみ有効となります。DICOM 適合性試験を行うことにより、本製品が DICOM に適合しているかどうか表示特性を測定し、確認することができます。
DICOM 適合性試験は、モニターの電源を入れて液晶パネルのバックライトが点灯してから 60 分以上経過した輝度が安定した状態で行うことをお薦めします。60 分未満の場合は、モニターの輝度が安定した状態にならないため、測定誤差が大きくなる恐れがあります。

## DICOM 適合性試験の実施手順

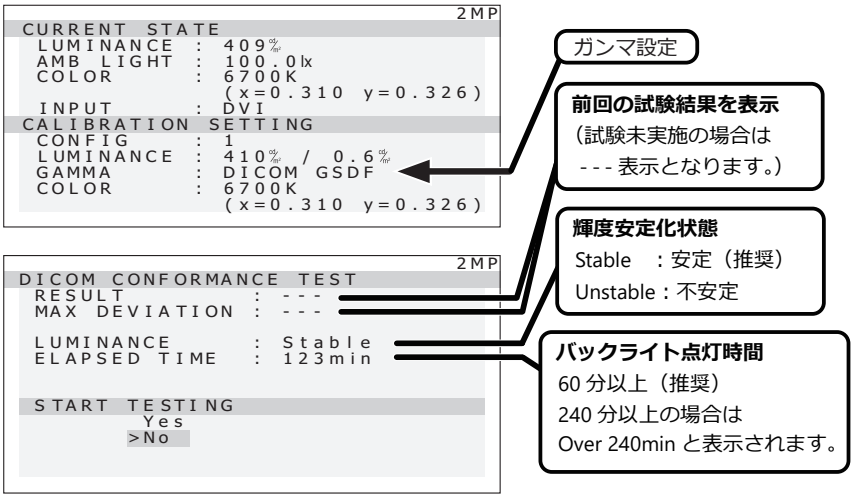
1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**CURRENT STATE**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

4) ガンマ設定が「**DICOM GSDF**」になっていることを確認します。

**現在の状態表示**

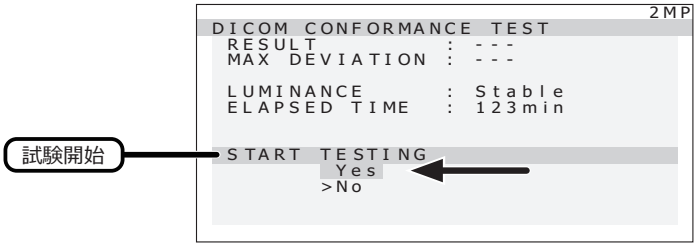



5)「**BACK**」ボタンを押します。

6) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**DICOM CONFORMANCE TEST**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「DICOM CONFORMANCE TEST」の OSD 表示から「**START TESTING**」の「**Yes**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

注意 ガンマ設定が「DICOM GSDF」になっていない場合、試験開始は表示されません。

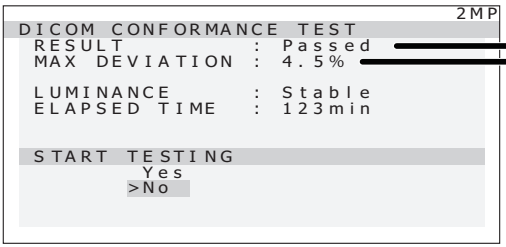
**DICOM 適合性試験**




測定が完了するまで 1 分から 2 分程度かかります。

7) 試験結果の表示
測定が完了すると試験結果が表示されます。

**試験結果**




**試験結果**

Passed: 最大偏差 ≦ 10%
Failed: 最大偏差 > 10%
Canceled: キャンセルされた

Passed(!), Failed(!)
推奨条件（バックライト点灯時間 60 分以上で輝度が安定）を満たしていなかった場合に (!) を表示します。

連続して 30 秒以内に試験を行う場合は、LUMINANCE が Unstable になり、RESULT は (!) 表示になります。

最大偏差

この結果は次回の試験またはキャリブレーションが行われるまで保持されます。
推奨条件での最大偏差が規格に適合しない場合は、外部輝度センサーを用いたキャリブレーションを行ってください。
OSD の未操作状態が約 15 秒続くと OSD 表示は自動的に消えます。

# コンフィグレーションデータの切替方法

本製品は、キャリブレーション設定された画面状態 ( 輝度・ガンマ・色温度 ) をコンフィグレーションデータとして最大 3 つまでモニターに保存することができます。コンフィグレーションデータの切り替えを行うには、OSD で CONFIGURATION を表示して切り替える必要があります。工場出荷状態ではあらかじめ下記 3 つが設定されており、 デフォルトは出荷設定により異なります。
コンフィグレーションデータの切り替えは、下記手順で行ってください。

| コンフィグレーション設定番号 | 輝度 (cd/m$^2$) | | 色温度 | ガンマ | 出荷設定 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 最大 | 最小 | | | |
| 1 | 410 | 0.6 | 6700 K | DICOM GSDF | 国内，欧州，韓国<br>北米 |
| 2 | 500 | 1 | 6700 K | DICOM GSDF | – |
| 3 | 500 | 0.6 | 6700 K | DICOM GSDF | – |

注意 工場出荷状態以外の任意の画面状態を設定し、保存する場合は、オプションの「キャリブレーションキット」を必要とします。

## 設定方法 1

OSD でコンフィグレーションデータの切り替えることができます。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2）「**MENU**」ボタンを押します。

3）▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**CONFIGURATION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「CONFIGURATION」の OSD 表示から「**Config1**」、「**Config2**」または「**Config3**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

## 設定方法 2

コンフィグレーションデータの切り替えを操作ボタンのファンクション（F1 ～ F3）に割り当て、ボタン操作で簡単に切り替えることができます。　ここでは、「**F2**」ボタンに割り当てる方法を紹介します。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

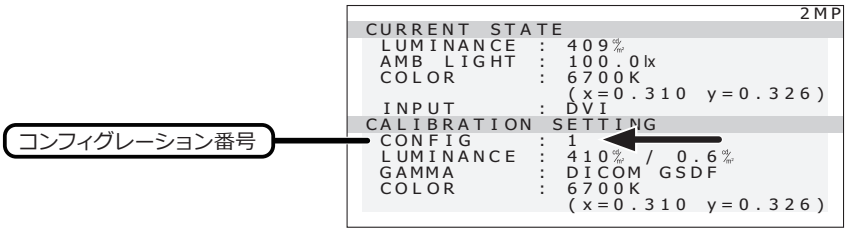
3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「**FUNCTION2**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

4)「FUNCTION2」の OSD 表示から「**CONFIGURATION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

5）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

6)「**F2**」ボタンを押して「CONFIGURATION」の OSD 表示から「**Config1**」、「**Config2**」または「**Config3**」を選択します。
コンフィグレーションの設定状態は「CURRENT STATE」の「**CALIBRATION SETTING**」ステータスで確認することができます。

**現在の状態表示**


2MP
CURRENT STATE
LUMINANCE : 409cd/m²
AMB LIGHT : 100.0lx
COLOR : 6700K
(x=0.310 y=0.326)
INPUT : DVI
CALIBRATION SETTING
CONFIG : 1
LUMINANCE : 410cd/m² / 0.6cd/m²
GAMMA : DICOM GSDF
COLOR : 6700K
(x=0.310 y=0.326)
コンフィグレーション番号

# ダイナミックガンマ機能について

本製品は弊社独自のダイナミックガンマ機能を搭載しています。この機能を有効にすると画面内に混在するモノクローム画像とカラー画像を自動的に識別して、それぞれに最適な階調での表示が可能になります。本機能は予め「Disable ( 無効 )」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable ( 有効 )」に設定変更することもできます。

注意

この機能は、本製品のガンマ特性が DICOM GSDF でキャリブレーションされているときのみ有効となります。本製品の不変性試験を実施する場合は、DYNAMIC GAMMA の設定を「Disable ( 無効 )」にした状態で行ってください。

## 設定方法 1

OSD でダイナミックガンマ機能をオン／オフ ( 有効／無効 ) することができます。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**DYNAMIC GAMMA**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「DYNAMIC GAMMA」の OSD 表示から「**Disable** ( 無効 )」または「**Enable** ( 有効 )」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

## 設定方法 2

ダイナミックガンマ機能を操作ボタンのファンクション（F1 ～ F3）に割り当て、ボタン操作で簡単にオン／オフ ( 有効／無効 ) することができます。ここでは、「**F2**」ボタンに割り当てる方法を紹介します。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「**FUNCTION2**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

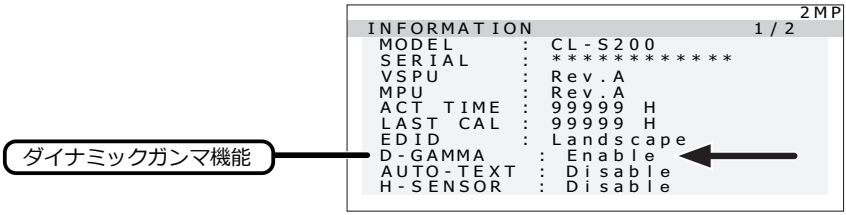
4)「FUNCTION2」の OSD 表示から「**DYNAMIC GAMMA**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

5）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

6)「**F2**」ボタンを押してダイナミックガンマ機能のオン／オフ ( 有効／無効 ) を切り替えます。ダイナミックガンマ機能のオン／オフ ( 有効／無効 ) 状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「**D-GAMMA**」ステータスで確認することができます。

・**Enable**（有効）
・**Disable**（無効）

**インフォメーション　1/2 ページ**




注意　画像によっては明るさの変化を生じることがあります。

# 入力信号を切り替える

本製品の入力信号切替は、下記の手順で行ってください。

## 設定方法 1

OSD で入力信号を切り替えることができます。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**INPUT SOURCE**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「INPUT SOURCE」の OSD 表示から「**DisplayPort**」または「**DVI**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

注意 入力信号がワークステーションから 2 系統入力されていない場合は「INPUT SOURCE」を切り替えても表示は切り替わりません。

## 設定方法 2

入力信号の切り替えを操作ボタンのファンクション（F1 ～ F3）に割り当て、ボタン操作で簡単に切り替えることができます。　ここでは、「**F1**」ボタンに割り当てる方法を紹介します。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

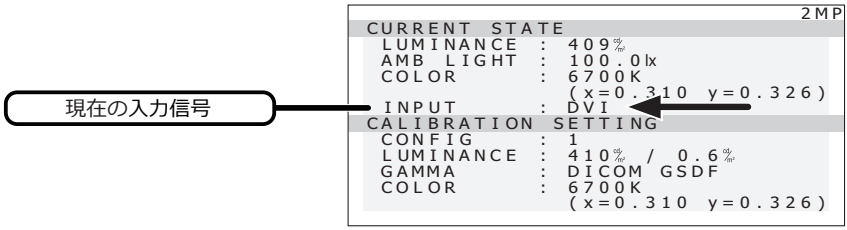
3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「**FUNCTION1**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

4)「**FUNCTION1**」の OSD 表示から「**INPUT SOURCE**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

5）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

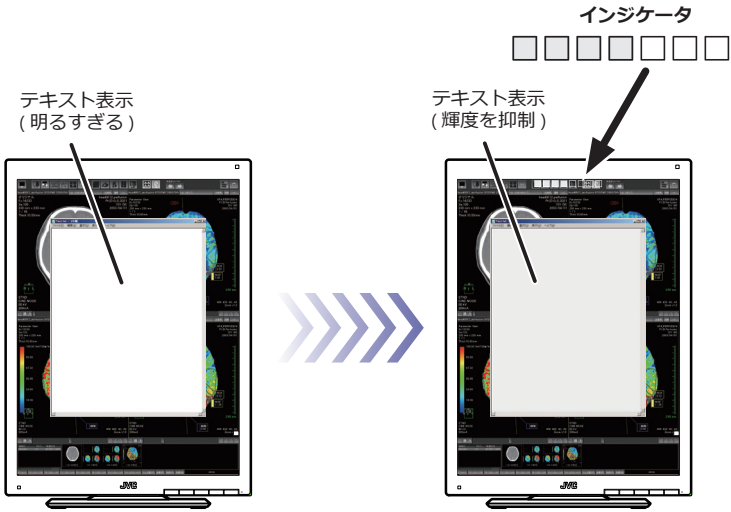
6)「**F1**」ボタンを押して「INPUT SOURCE」の OSD 表示から「**DisplayPort**」または「**DVI**」を選択し、入力信号を切り替えます。
「**INPUT**」の状態は「CURRENT STATE」のステータスで確認することができます。

**現在の状態表示**



# オートテキストモード機能

本製品には、レポートや患者リストなどのテキスト ( 白 ) 表示を自動的に検知し、その表示面積に応じて画面の輝度を抑えるオートテキストモード機能を搭載しています。　これまで、高輝度に設定されている医用画像表示用モニターでのテキスト ( 白 ) 表示は明るすぎて見づらくなっていましたが、本機能により画面の輝度を抑え、目のストレス ( 疲労 ) を軽減します。
本機能は予め「Disable ( 無効 )」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable ( 有効 )」に設定変更することもできます。




**オートテキストモード機能イメージ**

オートテキストモード機能が「Enable ( 有効 )」の場合、効果の度合いを示すインジケータが画面上部に点滅表示されます。
画面上のテキスト ( 白 ) 表示面積に応じて画面の輝度が抑えられます。

## 設定方法 1

OSD でオートテキストモード機能をオン／オフ ( 有効／無効 ) することができます。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**AUTO TEXT MODE**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「AUTO TEXT MODE」の OSD 表示から「**Disable** ( 無効 )」または「**Enable** ( 有効 )」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

## 設定方法 2

オートテキストモード機能を操作ボタンのファンクション（F1 ～ F3）に割り当て、ボタン操作で簡単にオン／オフ ( 有効／無効 ) することができます。ここでは、「**F3**」ボタンに割り当てる方法を紹介します。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「**FUNCTION3**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

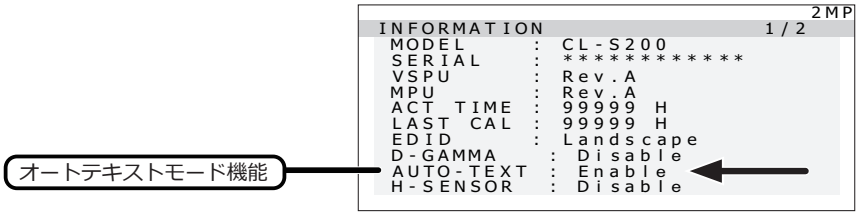
4)「FUNCTION3」の OSD 表示から「**AUTO TEXT MODE**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

5）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

6)「**F3**」ボタンを押してオートテキストモード機能を切り替えます。
オートテキストモード機能は「**F3**」ボタンを押すことでオン／オフ ( 有効／無効 ) にすることができます。
オートテキストモード機能のオン／オフ ( 有効／無効 ) 状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「**AUTO-TEXT**」ステータスで確認することができます。

- **Enable**（有効）
- **Disable**（無効）

**インフォメーション　1/2 ページ**



# 人感センサー機能

本製品には人感センサー機能が搭載されています。人の動きを検知し、離席時は自動でモニターをスタンバイ状態にします。これにより、消費電力カットを実現します。

本機能は予め「Disable ( 無効 )」に設定されていますが、OSD 操作で「Enable ( 有効 )」に設定変更することもできます。

## 設定方法

OSD で人感センサー機能をオン／オフ ( 有効／無効 ) することができます。

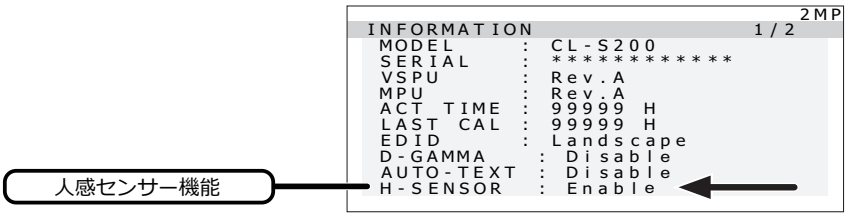
1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**HUMAN SENSOR**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「HUMAN SENSOR」の OSD 表示から「**Disable** ( 無効 )」または「**Enable** ( 有効 )」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。
人感センサー機能のオン／オフ ( 有効／無効 ) 状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「**H-SENSOR**」ステータスで確認することができます。

・**Enable**（有効）
・**Disable**（無効）

**インフォメーション　1/2 ページ**



# 画像の表示方向を固定する

本製品は、画面の向きを変えることで縦長表示 (Portrait) と横長表示 (Landscape) の両方で使用することができます。
画面の向きを変えても固定した表示方向で使用したい場合には、OSD で EDID データ切替（EDID）を表示して EDID データを切り替える必要があります。デフォルトは自動選択 (Auto Selection) に設定されています。
EDID データの切り替えは下記手順で行ってください。

## EDID データの切替方法

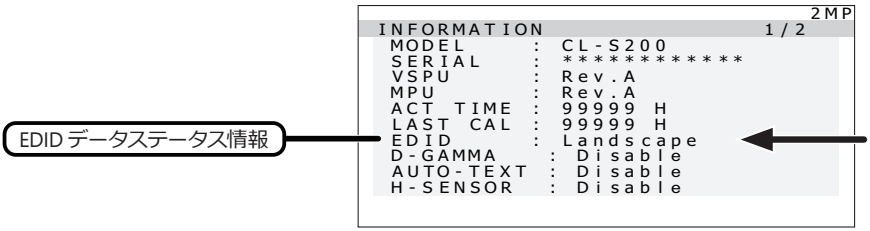
1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**EDID**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。
次に「EDID」の OSD 表示から「**Auto Selection** ( 自動選択 )」、「**Portrait** ( 縦長表示 )」または「**Landscape** ( 横長表示 )」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。
EDID の設定状態は「インフォメーション 1/2 ページ」の「**EDID**」ステータスで確認することができます。

- **Auto Selection**: 縦長／横長自動選択
- **Landscape :** 横長表示固定
- **Portrait :** 縦長表示固定

**インフォメーション　1/2 ページ**



# テストパターンの表示方法

本製品は画質確認用のテストパターンを表示することができます。

## テストパターンの選択

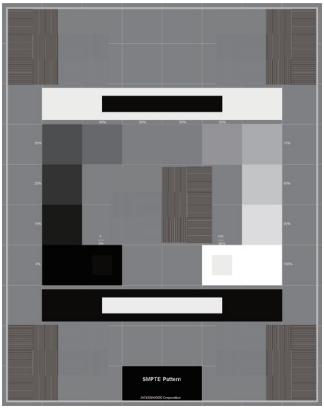
1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

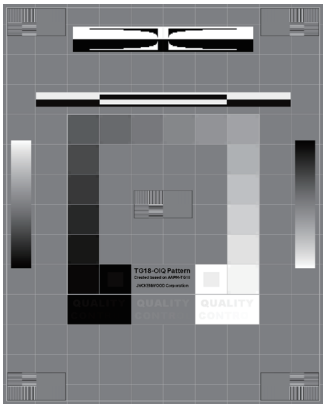
3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**TEST PATTERN**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。すると「TEST PATTERN」の OSD が表示されます。
「**SMPTE pattern**」または「**AAPM TG18-OIQ pattern**」から任意のテストパターンを選択して「**OK**」ボタンを押します。

出荷時に設定されているテストパターンは仕向先により異なります。

| 仕向け地域 | テストパターン |
|---|---|
| 北米 | SMPTE パターン |
| その他の地域 | AAPM TG18-OIQ パターン |




**SMPTE パターン**




**AAPM TG18-OIQ パターン**

## 設定方法

テストパターンの表示を操作ボタンのファンクション（F1 ～ F3）に割り当てることができます。ここでは、「**F1**」ボタンで表示のオン／オフができるように割り当てます。

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 1/2 ページから「**FUNCTION**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「FUNCTION」の OSD 表示から「**FUNCTION1**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

4)「FUNCTION1」の OSD 表示から「**TEST PATTERN**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。

## 表示方法

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**F1**」ボタンを押してテストパターンを表示します。テストパターンは、表示されてから 10 秒後に自動的に消えます。表示中に再度「**F1**」ボタンを押すことで、テストパターンを消すこともできます。

# DisplayPort 設定

モニターの信号入力を DVI コネクタから行い、DisplayPort コネクタを使用しない場合に、DISPLAYPORT を「オフ（無効）」に設定することができます。これにより省電力化が図れます。
※ DISPLAYPORT をオフ（無効）にすると DisplayPort OUT コネクタも動作しなくなります。

## 設定方法

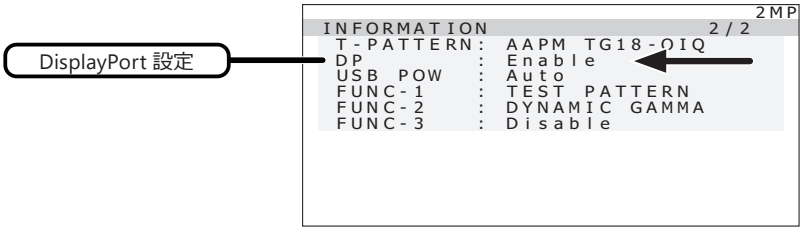
1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 2/2 ページから「**DISPLAYPORT**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「DISPLAYPORT」の OSD 表示から「**Disable** ( 無効 )」または「**Enable** ( 有効 )」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。
DisplayPort 出力のオン／オフ ( 有効／無効 ) 状態は「インフォメーション 2/2 ページ」の「**DP**」ステータスで確認することができます。

・**Enable**（有効）
・**Disable** ( 無効 )

**インフォメーション　2/2 ページ**



# USB ハブ機能

本製品は、USB 2.0 規格準拠のハブを搭載しています。付属の USB ケーブルを USB 対応のワークステーション、または他の USB ハブに接続することで、本製品の USB ハブに USB 周辺機器を接続することができます。
USB ハブの電源供給（USB POWER）は予め「Auto ( オート )」に設定されていますが、OSD 操作で「Off ( オフ )」に設定変更することもできます。

## 設定方法

OSD で USB ハブの電源供給（USB POWER）をオン／オフ ( 有効／無効 ) することができます。

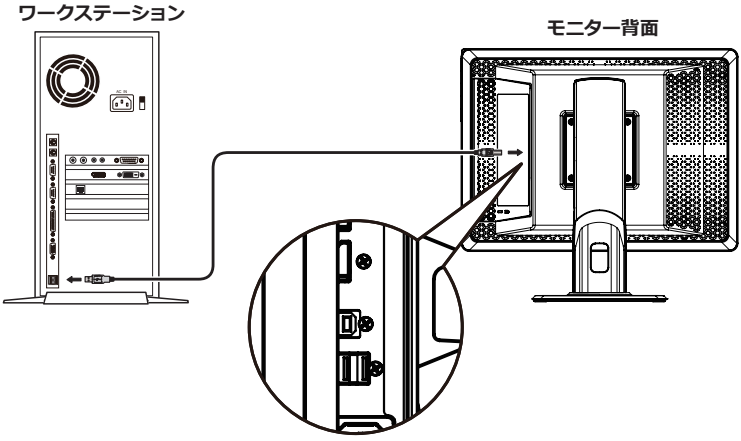
1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 2/2 ページから「**USB POWER**」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。次に「USB POWER」の OSD 表示から「**Auto** ( オート )」または「**Off** ( オフ )」を選択し、「**OK**」ボタンを押します。
- **Auto** ( オート ) : ワークステーションと接続したときにオンとして使える
- **Off** ( オフ ) : 常に電源供給はオフ

**1** 本製品とワークステーションを付属の DisplayPort ケーブル ( または DVI ケーブル ) で接続し、ワークステーションを起動します。(▮▮▮➡ P5 )

**2** 付属の USB ケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとワークステーション（または他の USB ハブ）のダウンストリームポートに接続します。
自動的に USB 機能がセットアップされます。




**重要**

USB ハブに接続するすべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
ご使用のワークステーション、OS および周辺機器によって、動作しない場合があります。

また、付属の USB ケーブルを使用して次のようなことが行えます。

**・キャリブレーションを行う（オプションのキャリブレーションキットが必要です）**

**・複数台のモニターを連続でキャリブレーションする**

● **キャリブレーションを行う場合**

上図のように付属の USB ケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとワークステーションの USB ダウンストリームポートに接続します。（キャリブレーションの方法については、オプションのキャリブレーションキットの取扱説明書を参照してください。）

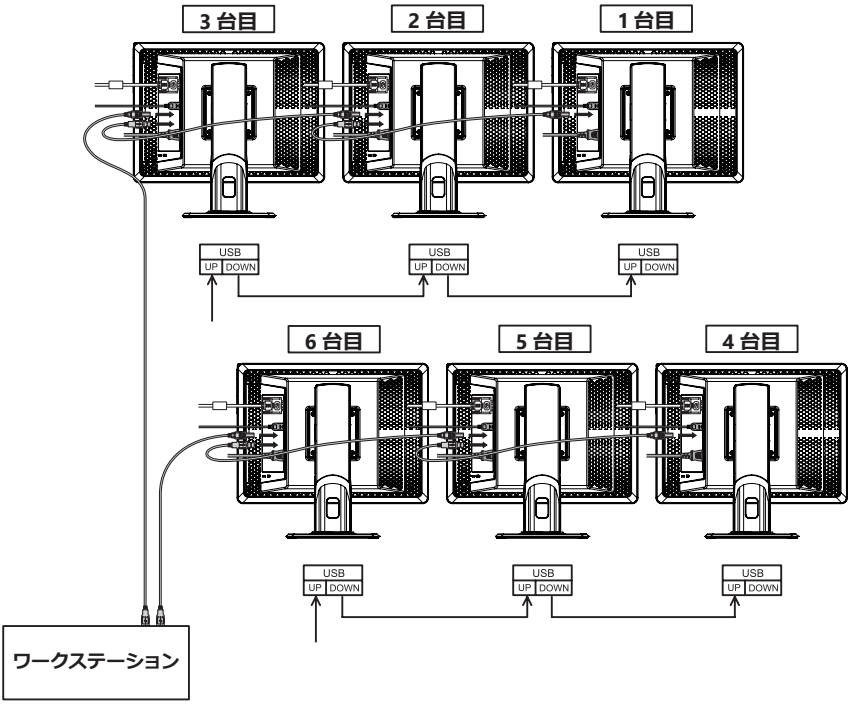
● **複数台のモニターを連続でキャリブレーションする場合**

本製品を USB ケーブルでチェーン接続すると 6 台までの接続が可能です。

**1** ワークステーションの USB ダウンストリームポートと 1 台目のモニターの USB「**UP**」ストリームポートを付属の USB ケーブルで接続します。

**2** 1 台目の USB「**DOWN**」ストリームポートと 2 台目のモニターの USB「**UP**」ストリームポートを付属の USB ケーブルで接続します。

**3** 以下同様に 2 台目と 3 台目、4 台目と 5 台目というように接続します。



# 工場出荷設定に戻す

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

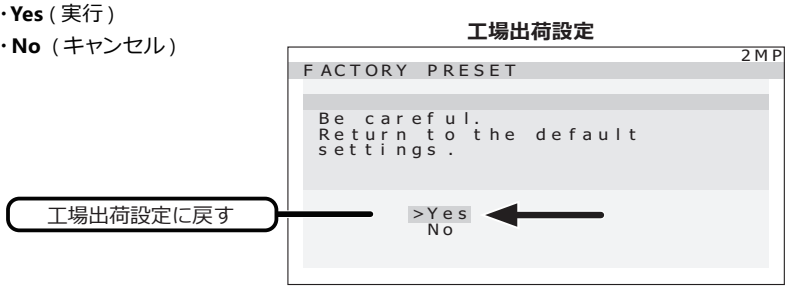
## 実行方法

1）操作ボタン A ～ D のいずれかを押して「操作ボタンガイド①」を表示させます。

2)「**MENU**」ボタンを押します。

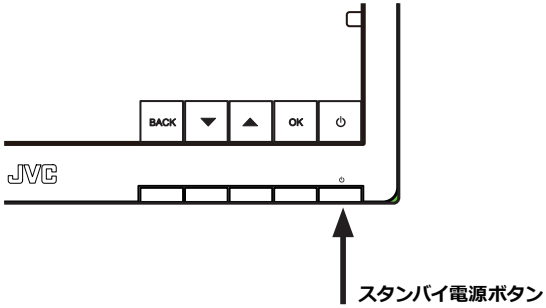
3) ▼ または ▲ ボタンを押してメニュー 2/2 ページから「**FACTORY PRESET**」を選択し、「**OK**」ボタンを 2 秒以上長押します。次に「FACTORY PRESET」の OSD 表示から「**Yes** ( 実行 )」を選択し、「**OK**」ボタンを 2 秒以上長押します。

・**Yes** ( 実行 )
・**No**（キャンセル）



# スタンバイ電源ボタンのロック機能

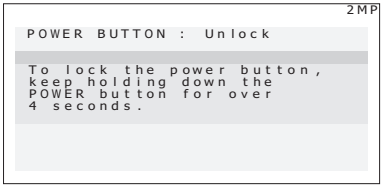
本製品には、スタンバイ電源ボタンのロック機能があります。うっかりモニターの電源をオフしてしまうことがないように本製品前面のスタンバイ電源ボタンをロックすることができます。



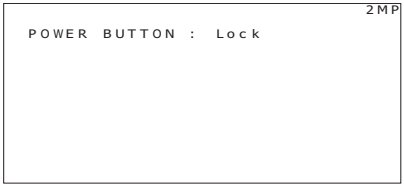

## ロック方法

OSD が表示していない状態で スタンバイ電源ボタンを 4 秒以上長押しします。
すると画面上にスタンバイ電源ボタンの現在の状態が表示されます。「**POWER BUTTON: Unlock**」の表示が出るので、スタンバイ電源ボタンをさらに 4 秒以上長押しすると、スタンバイ電源ボタンがロックされます。

**スタンバイ電源ボタン現在の状態**



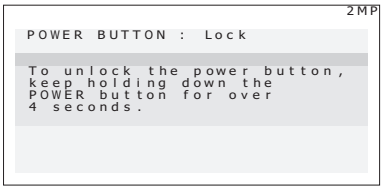

**スタンバイ電源ボタンのロック**




## ロック解除方法

OSD が表示していない状態で スタンバイ電源ボタンを 4 秒以上長押しします。
すると画面上にスタンバイ電源ボタンの現在の状態が表示されます。「**POWER BUTTON: Lock**」の表示が出るので、スタンバイ電源ボタンをさらに 4 秒以上長押しすると、スタンバイ電源ボタンロックが解除されます。

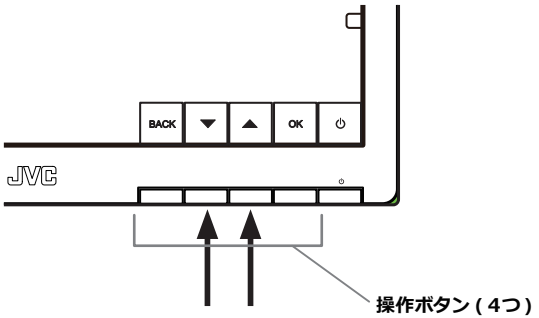
**スタンバイ電源ボタン現在の状態**




**スタンバイ電源ボタンのロック解除**

# 操作ボタンのロック機能

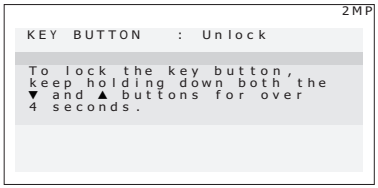
本製品には、操作ボタンのロック機能があります。モニターの設定を変更できないように本製品前面の操作ボタン（スタンバイ電源ボタンを除く）をロックすることができます。



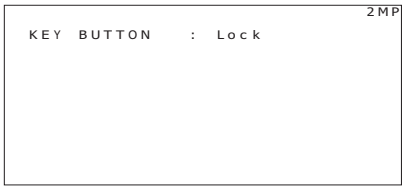

## ロック方法

OSD が表示していない状態で ▼ および ▲ ボタンを 4 秒以上長押しします。
すると画面上に操作ボタンの現在の状態が表示されます。「**KEY BUTTON : Unlock**」の表示が出るので、▼ および ▲ ボタンをさらに 4 秒以上長押しすると、操作ボタンがロックされます。

**操作ボタン現在の状態**



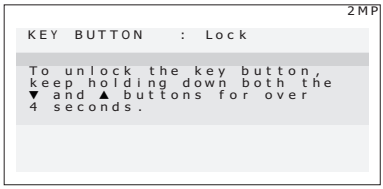

**操作ボタンのロック**



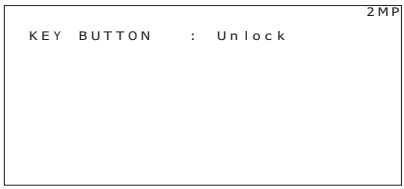

## ロック解除方法

OSD が表示していない状態で ▼ および ▲ ボタンを 4 秒以上長押しします。
すると画面上に操作ボタンの現在の状態が表示されます。「**KEY BUTTON : Lock**」の表示が出るので、▼ および ▲ ボタンをさらに 4 秒以上長押しすると、操作ボタンロックが解除されます。

**操作ボタン現在の状態**




**操作ボタンのロック解除**



# 市販のアームを取り付けるときは

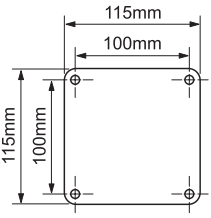
本製品はスタンドを取り外して市販のアーム等を取り付けることができます。

使用するアーム等の仕様をご確認の上、次の点に注意してお選びください。

・100 mm ピッチ取り付けに適合しているもの（右図参照）

・耐荷重がモニター本体(スタンドを取り外した状態)と接続されたケーブル類の総質量に耐えられるもの

注意 取り外したスタンドを再度取り付ける場合は、製品購入時に取り付けられていたネジをお使いください。




**⚠ 警告**

取り付け部分の板金厚により必ず指定寸法のネジを使ってください。
ネジの寸法が長すぎる場合は、モニター内部品を破損し、ネジの寸法が短すぎる場合は、落下する恐れがあります。

| 取り付け部分の板金厚 | 指定ネジ寸法 |
|---|---|
| 3.5–4.5 mm | ISO　M4 × 12 |
| 1.5–3.5 mm | ISO　M4 × 10（付属品） |
| 1.5 mm 以下 | ISO　M4 × 8 |

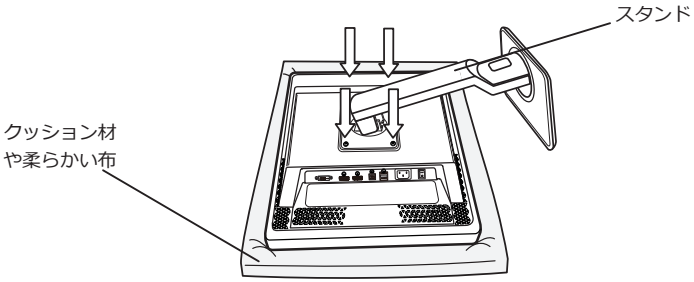
なお、スタンドの取り外しやアーム取り付けはお客様の責任において行うものとし、万一事故が発生した場合、弊社はその責任を負いかねます。

## アームの取り付け方

**1** 画面に傷がつかないよう、安定した平らな面にクッション材や柔らかい布を敷きます。

**2** その上に画面を伏せてモニターを置きます。

**3** スタンドを取り外します。（プラスドライバーで下図矢印4カ所のネジを外します。）

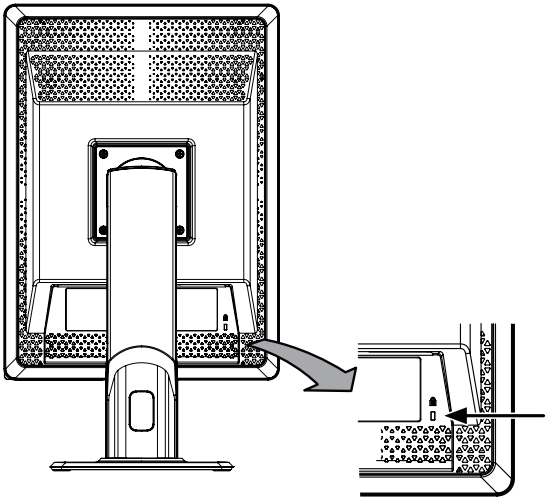



**4** モニター本体をアームに取り付けます。（取り外しと逆の手順で行います。）

注意 既に固定されたアーム等にモニターを取り付ける場合は、必ず 2 名以上で安全を確保して取り付け作業を行ってください。モニターが落下したり転倒したりすると、けがや故障の原因となりますのでご注意ください。

# 盗難防止セキュリティロックスロット

本製品には、ACCO Brands 社の Kensington MicroSaver* セキュリティロックシステムに対応したセキュリティロックスロットを搭載しています。
MicroSaver ロックは、別途コンピュータ用品販売店などでお求めください。



* Kensington、MicroSaver は米国 ACCO Brands 社の登録商標です。

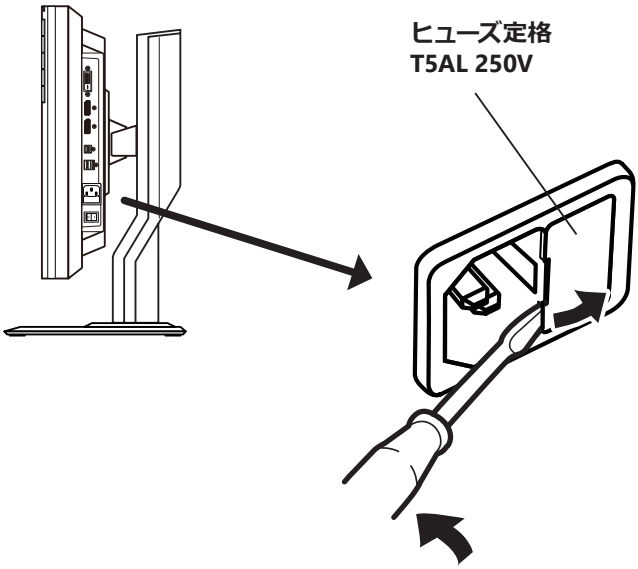
# ヒューズの交換

**ヒューズ付き AC インレットの注意**

AC インレットにはヒューズが内蔵されています。
ヒューズを交換するときは、正当な定格のタイプのみを使用してヒューズカバーを取り付け直してください。

**ヒューズの交換方法**

マイナスドライバでヒューズカバーを開き、ヒューズを交換します。



# 故障かな？と思ったら

「故障かな ?」という場合、修理を依頼される前に次の事項を確認してください。

| 症状 | 考えられる原因と対処方法 |
|---|---|
| 電源が入らない！<br>（LED インジケータが点灯しない） | ・電源コードの接続を確認してください。（P5）<br>・メイン電源スイッチが入っているか確認してください。 |
| 画面が表示されない！ | ・信号ケーブルの接続を確認してください。<br>・ワークステーションの電源が入っているか確認してください。<br>・LED インジケータが橙色になっている場合、ワークステーションがパワーセーブ状態になっている可能性があります。キーボードのいずれかのキーを押してみてください。<br>・入力信号の周波数もしくは表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。ワークステーションの取扱説明書に従って、周波数または表示解像度を調整してください。<br>・LED インジケータが赤色になっている場合、本製品故障の可能性があります。症状が改善されない場合は、弊社サポートデスクへお問い合わせください。 |
| 画像が正しく表示されない！ | 入力信号の表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。ワークステーションの取扱説明書に従って、表示解像度を調整してください。 |
| DisplayPort 入力で画像が正しく表示されない！ | DisplayPort 入力は、グラフィックスカード、グラフィックスカードのドライバ、ＯＳ等の組み合わせによりうまく表示されない場合があります。推奨のグラフィックスカードについてはお買い求めの販売店にご相談ください。 |
| 「Check the system settings.」という OSD が表示される！ | DisplayPort 入力でノイズの影響等により色深度が 6bpc になった時に表示されます。グラフィックスカードのドライバ設定で 6bpc 以外の設定へ変更してください。 |
| セルフキャリブレーションが動作しない！ | 停電などの電源遮断があった場合、モニター内蔵の時計が初期化されるため、セルフキャリブレーションが正常動作しない場合があります。QA Medivisor Agent LE もしくは QA Medivisor Agent で時計を再設定してください。 |

# Memo

# Memo

CL-S200 設置マニュアル
2023 年 11 月版　　PZZ11-2531D

**設置マニュアルに関するご注意**

・本書の内容の一部または全部を無断転記することは禁止されています。
・本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
・本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら販売店にご連絡ください。

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

Printed in Japan
© 2017 JVCKENWOOD Corporation